

コミュニティバス・タクシー「おでかけ号」の利用状況をお知らせします

コミュニティバス平均乗車数

平成24年4月～9月

運行区域	路線名	運行曜日	平均乗車数
国見町 国東町	熊毛・長瀬線	月	3.8人 (▲0.3人)
	大熊毛・小熊毛線	火	4.9人 (0.7人)
	鬼籠・櫛海線	水	5.8人 (1.1人)
	櫛来線	木	6.4人 (1.3人)
	向田・浜陽線	金	18.7人 (▲0.1人)
	深江・寺山線	月	10.9人 (0.4人)
	堅来線	火	9.0人 (0.8人)
	赤松線	水	9.6人 (1.4人)
	小原線	木	3.8人 (▲0.1人)
	治郎丸線	金	5.5人 (▲0.1人)
武蔵町 安岐町	山口線	月	6.1人 (▲0.6人)
	油留木線	火	5.0人 (▲1.4人)
	志和利線	水	7.6人 (▲2.4人)
	吉松線	木	10.7人 (▲0.2人)
	松ヶ迫・小ヶ倉線	金	15.3人 (▲3.2人)
全路線			8.2人 (▲0.2人)

() は平成23年度の年間平均乗車数との比較です。

コミュニティタクシー平均乗車数

平成24年4月～9月

運行区域	路線名	運行曜日	平均乗車数
国見町 国東町	小高島線	水	1.7人
	種田線	金	1.9人
	高良線	水	5.8人
武蔵町 安岐町	狭間線	水	2.1人
	橋上線	木	0.4人
	小俣線	金	4.3人
全路線			2.7人

平均乗車数は朝の下り便と正午前後の上り便の1往復により算出したものです。

【コミュニティバス】

武蔵町・安岐町を運行する路線が、昨年度と比較して減少傾向にあります。

【コミュニティタクシー】

平成24年3月から運行が開始されました。今回の報告は平成24年4月からの半年間の乗車数を集計したものです。コミュニティバスと同様、路線バスが運行していない地域の停留所が設置された区間で、下り便の乗車、上り便の降車ができます。

地域の交通手段の確保と地球環境を守るため公共交通を利用しましょう

コミュニティバスと同じく「地域共通の財産＝公共交通」として路線バスがあります。路線バスを維持するために最も重要なことは、実際にみんなでバスを利用することです。公共交通の利用促進は地球温暖化防止の有効な手段でもあります。

問い合わせ 政策企画課 政策企画係 ☎0978-72-5161

教育の里づくり 学校じまん・園じまん ⑦ ～安岐小学校～

安岐小学校 岡松寛校長・児童数 229人
 ☎0978-67-0336
 ホームページアドレス <http://syounita-ed.jp/kunisaki/aki/>

「ひとみかがやく安岐つ子を育てる！
 父ちゃん・母ちゃん地域のみなさん、学校に行こう！」
 安岐小学校は、地域との連携を前面に打ち出し、知・徳・体バランスのとれた子どもの育成を目指し、日々、教育活動を展開しています。
 朝は全校児童が、車に頼らず自力登校を心がけ、地域の方々といさつを交わします。早朝マラソンで新鮮な汗を流した後は、学習活動で真剣勝負。学習サポーターやゲストティーチャーとして、授業に協力してくださる地域の方々、平成23・24年度だけでも、延べ700人を超えています。
 かつては「楓江小学校」と呼ばれ、「楓江の郷安岐町」文化の中心として愛され、大切にされてきた本校では、229人の子どもたちを、地域みんなで育てようという風土が、今も脈々と生き続けています。
 「安岐のあ・安全のあ・安心のあ・明日のあ」を合言葉に安岐小学校教育活動を支援してくださる「あ」組の存在も、その代表といえるでしょう。
 習熟度に応じた学習活動・体験活動をもとにした追求学習・全校で15,000冊を目指す読書活動等々、一人ひとりの子どもたちの現実に目を向けながら、安岐小学校教職員は一丸となって、教育活動の改善に努めています。「安岐小プライド・地域が誇れる活力ある学校」を目指して。



地域人材



朝マラソン



あいさつ